

Ⅱ. 結果の要約

1 出生数は減少

出生数は 5,238 人で、前年の 5,514 人より 276 人減少した。

出生率（人口千対）は 5.8 で、前年の 6.1 を下回った。

合計特殊出生率は 1.39 で、前年の 1.43 を下回った。

2 死亡数は増加

死亡数は 14,308 人で、前年の 12,930 人より 1378 人増加した。

死亡率（人口千対）は 16.0 で、前年の 14.3 を上回った。

死因別に見ると、死因順位の第 1 位は悪性新生物、第 2 位は心疾患、第 3 位は老衰であり、全死亡者に占める割合は、それぞれ 23.4 %、15.9 %、13.8 %となっている。

3 自然増減数は減少

出生数と死亡数の差である自然増減数は△ 9,070 人で、前年の△ 7,416 人より 1,654 人減少した。

自然増減率（人口千対）は △ 10.1 で、前年の△ 8.2 を下回った。

平成 10 年以降は、毎年死亡数が出生数を上回っている。

4 死産数は減少

死産数は 112 胎で、前年の 91 胎より 21 胎増加した。

死産率（出産千対）は 20.9 で、前年の 16.2 を上回った。

5 婚姻件数は減少

婚姻件数は 3,193 組で、前年の 3,264 組より 71 組減少した。

婚姻率（人口千対）は 3.6 で、前年と同率であった。

6 離婚件数は減少

離婚件数は 1,386 組で、前年の 1,442 組より 56 組減少した。

離婚率（人口千対）は 1.55 で前年の 1.59 を下回った。

※表中の数値は、四捨五入による数値のため、端数において合計が一致しない場合がある。

7 「Ⅳ 統計表」の過去の数値について

平成 16・18・21～29 年の統計表について、厚生労働省から修正の報告があったため、修正が生じた箇所には下線を引いている。